

自分に自信がないから!?
モノを持ちすぎてしまう人の4つの傾向


はじめに

片付け達人になる前に、まずはモノを増やさないことから始めませんか？この傾向にあてはまる人は要注意。

1. いつも忙しい
(と思い込んでいる)

時間ができたら片付けようと思いつつも置きっぱなしになる
片付けられないから忙しい

忙しすぎて時間管理が出来ていない
「仕事が忙しいから時間管理ができない」
「忙しくて明日の予定を考える暇がない」
忙しいからこそ時間管理をよりきちんとしなければならない

 時間を記録し、管理し、まとめるという三つの段階が、成果をあげるための時間管理の基本となる
ピーター・ドラッカー

自分の行動を記録してみる
トイレに行った回数や細かなことも5分単位で全て記録する
仕事の成果へのつながりが薄いと感じたことは全て切り捨てる

2. 自分に自信がない

ブランド志向

有名な商品を身につけて外見的に飾り立てることで、精神的には空っぽな自分をあたかも大きな人間であるかのように見せかけようとする、本能的に欺瞞の心を持つ人間である

自己の内面が充実していれば、装飾品などで身を飾らなくても、その人の品格が自ずと現れ出るもの

自信を持ってない者たちが、金や物を多く持つことによって、精神的に空虚な自分を覆い隠して、周囲の人々と、そして自分自身をもごまかして生きている

外面を飾るより、どうして自分の内面を磨かないのでしょうか。自己の内面を磨いて、智慧ある人間に成長すれば、多くの人を自分に引き寄せることができますし、また、自分も自信を持って生きられる

金に走る物欲的な人間は、常に金のことばかりを考えて、金の奴隷となり、正しい智慧を身につけることができず、最終的に、物質的にも精神的にも破綻して、悲惨な人生に陥ってしまう

4. こだわりがない

こだわりなく、安かったから、買える値段だったから、と買い物をする習慣のある人は、どうしてもいい物を持ち過ぎる傾向がある

どうしてもいい服を5着6着買うなら、上質なお気に入りの服を1着買う

3. 何でも引き受けてしまう

他人からの頼みごとばかり片づけているうちに、あなた自身の本来やるべきことがおろそかになってしまつては、本当の意味で役に立っているとは言えない

あまりにも、いい人を普段から演じ続けていると、ある日突然、ふつとりとなにかが切れて、精神的にダウンしてしまうことも

“すべての人を喜ばそうとすると、結局誰にも喜んでもらえない”

無理なものは無理、とはっきり表明するほうが、へたになんでも引き受けるより、結果的には相手のためにも、自分のためにもなる